

大手前だより

金蘭会 — 現会員と未来の会員のために —

■ 一般財団法人金蘭会。が発足 … 1	■ 母校支援事業 (文化行事・国際交流事業) … 4	■ 金蘭会ホールのご案内 … 8	■ 会員からのお便り … 15
■ 会長ご挨拶 … 2	■ リレー・フォー・ライフ・国際グリム賞 … 5	■ 各委員会・金蘭会推見クルーズ … 10	■ 会費納入・サポート・事務局案内 … 16
■ 校長ご挨拶 … 2	■ 会務報告書・金蘭会指針 … 6	■ 学年会だより … 11	
■ 母校便り・母校の現状 … 3	■ 予算・決算報告書 … 7	■ 支部この一年 … 13	

一般財団法人 金蘭会が発足

一般財団法人金蘭会は、平成二十六年四月一日付で、財団法人金蘭会からの移行認可を大阪府知事から受け、登記も完了して正式に発足しました。

明治二十四年八月に設立された金蘭会は、昭和十四年三月に法人組織化し、財団法人として、女子教育事業の援助、教育研修事業への助成、金蘭会館の運営などを行って参りました。

その後財団法人金蘭会は、同窓会金蘭会と渾然一体となって活動を続けてきましたが、このたび国の公益法人制度抜本改革の方針により、一般財団法人金蘭会として、新しい定款のもとで認可を受け、活動を継続することになりました。

新法人の目的は、学校教育事業を援助するとともに教育関連事業の助成を図り、もって社会公益に資することとで、これまでと変わりはありません。

具体的には、従来から行ってきた国際グリム賞への助成事業、母校の行う高校生国際科学会議の支援事業(三年に二回)などを実施します。また今後、母校の海外研修支援事業も実施するかどうか検討していく予定です。

母校創立 130周年 金蘭会創立 125周年

新法人の新しいホームページは、同窓会金蘭会IT委員会の協力により開設されました。URLは <http://kinran.jp/zaidan/index.htm> で、同窓会金蘭会のホームページ「WEB金蘭会」のトップページからも、右上の「一般財団法人金蘭会」をクリックすることで入ることができます。そこには、新しい定款や事業計画、予算、役員などが掲載されていますのでご覧ください。

平成二十八年 記念行事を予定

平成二十八(二〇一六)年に母校は創立百三十周年、金蘭会は創立百二十五周年を迎えます。

金蘭会では、このたび記念事業実行委員会(委員長:安橋興二郎会長)を設置しました。今年後半から母校と相談しながら具体的な事業計画を検討していくこととなります。

「大手前海外研修」への支援

このたび、匿名の会員お二人から母校支援への有効利用を条件として五年間にわたり総額二〇〇〇万円の寄付のお申し出を頂きました。金蘭会からの寄付金活用についての申し出を受けて母校では、本年度からイギリスまたはアメリカの大学へ生徒十名を短期派遣する「大手前海外研修」制度を創設しました。金蘭会は、毎年二〇万円を生徒の旅費補助等として母校を支援します。

本年度は、八月にイギリスのケンブリッジ大学へ、生徒六十名の希望者の中から選ばれた十名と教員二名が派遣され、大学教授による数学の講義、大学院生との交流等を行う予定です。



ケンブリッジ大学

会長ご挨拶



会長 安橋 興二郎
(S34卒)

一面に記載のとおり、本年四月二日、一般財団法人金蘭会が発足しました。これを機会に今後、より充実した活動が期待されますが、会員の皆様からよくお聞きするのは、「同窓会金蘭会は、一般財団法人金蘭会と関係があるのですか?」「どのような関係にあるのですか?」という質問です。

同窓会金蘭会と一般財団法人金蘭会とはコインの裏表のような関係です。平成八年までは、会計・予算も、決議機関・執行機関も同じで、永年にわたり両者は渾然一体となつて運営されてきました。しかしこの年に、大阪府教育委員会のご指導のもとで大きな改革が行われて両者は分離され、大きく言えば同窓会金蘭会は母校支援と会員相互の親睦・向上を目的として内向きに活動し、財団法人金蘭会はグリーム賞贈呈など社会公益のために外向きに活動することになりました。

同窓会金蘭会と一般財団法人金蘭会の活動にも大いに関心を持っていただき、新設されたホームページを見るなど、あたたかく見守ってくださいませようお

願い申しあげます。

さて、平成二十八年(二〇二六年)に、金蘭会は創立百二十五周年、母校は創立百三十周年を迎えます。金蘭会にとつては五年ごとに開催している総会(懇親会)の年でもあります。今秋から、母校と相談しながら準備を進めてまいり予定をしております。会員の皆様には、記念事業の実施に向けて、積極的にご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

本年も金蘭会では、主催事業・同好会活動の実施、支部総会・懇親会や学年会の開催など多彩な活動が展開されます。会員の皆様のご活躍・ご健勝と、母校のますますのご発展を心から願っております。

校長ご挨拶



校長 栗山 和之

金蘭会会員の皆様には、本校の教育活動に對しまして、様々な形で常日頃からご支援をいただいておりますことに心からお礼申し上げます。また、本年度からは金蘭会のご支援により、本校生徒を毎年イギリスやアメリカの大学での研修に短期派遣する制度(大手前海外研

修)も立ち上がりました。本年度はイギリスのケンブリッジ大学に10名を派遣する予定であります。この場をお借りしまして重ねてお礼申し上げます。

私たちの大手前高校は、大阪屈指の伝統校として、百二十八年間にわたり、充実した教育活動を展開し、そしてあまたの人材を世の中に輩出してまいりました。これもひとえに多くの卒業生の方々のご努力とご支援のおかげであると実感しております。

私も校長として四年目を迎えますが、入学してくる生徒に対しては、いつも同じことばを伝えていきます。それは「一時を守り、場を清め、礼を正して、大手前高校の校風をつないでください。そして、魂のこもった高校生活をおくってください。」ということとです。学業に励む大手前

高校生であると同時に、彼らの人格の形成を図ることが、大手前高校に課せられたものであると思つているからであります。

大手前高校は、理数科時代の成果もあり、平成29年度まで文部科学省から、スーパーサイエンスハイスクールに指定されております。未来を担う科学技術系人材を育てることをねらいとして、理数系教育の充実にも日々取り組んでおり、数多くの輝かしい実績を積みあげている次第であります。

また、大阪府の進学指導特色校(豊かな感性と幅広い教養を身に付けた、社会に貢献する志を持つ、知識基盤社会をリードする人材を育成することを目指すとした10校)にも指定され、さらなる充実に努めてまいります。

文理学科12クラス・普通科15クラス、合わせて一〇八四名の生徒たちは、ともに学び、ともに楽しく明るい大手前高校生活を送っております。学校行事や部活動・自治会活動・国際交流活動などでの彼らの活躍をこれからもさまざまな場面でお伝えできればと考えております。

「つよき信念(まこと)とたかき理想(のぞみ)」そして「英姿颯爽」のスローガンのもと、立ち居振る舞いが爽やかで凛々しく、生き生きとした活力に溢れ、何事においても、常に前向きな大手前高校生を育てていきたいという思いで、教職員一同が全力で取り組んでおります。今後とも安橋興二郎会長のもと益々発展される金蘭会のご支援とご協力をお願い申し上げます。

母校便り

◆ 本年度の人事異動（順不同）
（講師は含まれていません）

〔退職された方〕

植田 隆巳 先生（数学科）
再任用として本校へ

深川 久 先生（数学科）
再任用として府立長野高校へ

高木 美和子 実習教員
再任用として府立長野高校へ

荻洲 博 主査

〔転勤された方〕

田中 仁 教頭先生
校長として府立北千里高校へ

垣内 健太郎 先生（国語科）
府立守口東高校へ

奥村 満将 先生（数学科）
府立東淀川高校へ

〔昇任された方〕

宮城 憲博 首席（数学科）
本校教頭へ

〔着任された方〕

田中 衣子 先生（国語科）
府立大正高校より

黒田 貞樹 先生（数学科）
府立北野高校より

森蔭 溪 先生（数学科）
新任

芝本 義範 主査
府立登美丘高校より

母校の現状



部活動の主な実績 （近畿大会以上）

※平成 25 年度

〔陸上部〕
近畿大会・全国インターハイ 出場

〔硬式テニス部〕
近畿公立高校大会 出場

SSH（スーパーサイエンスイスクール）【H20～H29】 進学指導特色校【H23～】 関連事業

- マレーシアサイエンス研修（7月）
- サマースクール（7月）
- マスフェスタ[数学フェスティバル](8月)
- SSH講義（9月）
- 東京研修（10月）
- ハイレベルマス研修・マスタワー（11月・12月）
- 集中セミナー（12月）
- シンガポール語学研修（12月）
- 高校生国際会議（3月）
- イングリッシュキャンプ（3月）

<実績>

- * SSH生徒研究発表大会2008・2011
「ポスターセッション賞」
- * SSH生徒研究発表大会2010
「科学技術振興機構理事長賞」
- * 4th APEC Youth Science Festival 2010（タイ）
数学の部一位
- * 全国高校化学グランプリ 2008・2009
大賞・銀賞・銅賞 受賞
- * 第19回日本数学オリンピック本選 2009
「成績優秀者」受賞
- * 高校生国際科学会議実施 2010・2013
（中国・韓国・タイとの共同研究・共同宣言）
- * 日本数学コンクール 2008・2009・2011・2013
大賞・優秀賞・優良賞 受賞
- * 大阪府学生科学賞 2010・2011・2012
学校賞・最優秀賞・優秀賞 受賞
- * 科学地理オリンピック 2012
銅賞 受賞

体験入学 学校説明会について

6月21日（土）に中学3年生対象の体験入学が行われました。9月13日（土）には中学3年生を対象に、来年2月11日（水・祝）には中学1・2年生および小学生を対象に学校説明会が開催されます。

◆ 平成25年度 主な大学合格状況

東京大学	4名
京都大学	29名
大阪大学	51名
神戸大学	26名
大阪市立大学	21名
大阪府立大学	29名
早稲田大学	8名
慶應義塾大学	4名
関西大学	146名
関西学院大学	65名
同志社大学	157名
立命館大学	139名

計 報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

行徳 康一 教頭先生
平成二十二年十二月

森 一雄 先生（国語）
平成二十四年三月二十六日

上総 良雄 先生（理科）
平成二十六年一月十三日

クラブ便り

部活動（重複あり）[実入部人数]

	H25年度
体育系	705
文化系	294
合計	999
加入率（%）	92.0%

母校支援事業

第二十回母校支援

文化行事

講演会

金蘭会よりご支援をいただいている文化行事として、平成二十五年度は「講演会」を行った。平成二十五年十月十六日(水)、本校体育館にて、講師に現代を代表する知識人である内田樹氏を迎え、演題は「これからの日本はどうなるのか? グローバリズムと国民国家」である。生徒も、興味深く示唆に富むお話から多くのことを学び、そして考えてくれた。生徒の声を代表する三年生の感想文を以下に紹介する。

【生徒の感想】

「グローバリズムと国民国家」をテーマに、政治、経済、教育など多岐にわたってお話いただいたが、そのどれもが興味深く、印象に残った。その中でも憲法の話が少し気になったので、講演のあとインターネットで政権与党の憲法改正案を読んだ。第九条など、メディアでさかんに取り上げられているものに関しては危険な雰囲気を感じてはいたが、その他にもさまざまな改正が見受けられ、考えさせられた。中略：憲法の大規模な改正、その真の目的、その一つの答えが「グローバリズムの推進」であることに愕然とし、また、納得せざるを得なかった。実際に私の身の周りでも、「グローバリズム」を気がつけば、あらゆる方面で体験しているからだ。本来、人やものの移動を増やしたり、交友範囲を広げたりすることは悪いことではないはずだと私は思う。そのために、英語をはじめとする外国語をさかんに学ぶことも、ただ、みかけの経済成長や利益のみを重視し、その弊害について考えてもせず、「グローバリズム」を過剰に推進していることが問題なのだ。

2003年から始まった英国ウエールズのベンクスライズ校との交流事業の一環として、2013年7月3日から7月13日の日程で2年生5名、1年生5名、引率教員2名の計12名が大手前高校を代表してベンクスライズ校を訪問しました。前回2011年に派遣団がベンクスライズ校を訪れたときは、天候が思わしくない日が多かったようです。しかし、今回の訪問中は初日の夜から翌日の午前中にかけて激しい雨に見舞われ、その後は快晴続きの素晴らしい天気になりました。

国際交流事業

「英国交流」

今回の派遣では、受け入れ側の事情により生徒宅でのホームステイが出来ず、ベンクスライズ校の近くにある大学の寮に宿泊しました。生徒たちはホームステイを楽しみにしていたので少し残念ではあったのですが、大学の寮に泊まることで、その中でも良い経験でした。ホスト宅での寝泊りができなくなった分、現地生徒との交流時間は少なくなりましたが非常に長く、毎晩22時近くまで明るかったこともあって交流する時間は十分に取れたようです。一日の長さを実感できたのも、また得難い経験だったと思います。

さて、派遣団の大切な役割として、日本の伝統文化や日常生活などの紹介があります。今回は、「年中行事の紹介」「遊びの紹介」「食文化の紹介」という3つのテーマごとに班に分かれてプレゼンテーションを準備しました。また、それらとは別にカントリーロードの英語・日本語での合唱と、ソーラン節を準備しました。ベンクスライズ校では、朝の集会で歌とソーラン節を披露させていただき、さらには授業内容を変更してプレゼンテーションのために時間を割いてくださいました。生徒たちは、現地生徒の反応を確かめながら、インタラクティブに、楽しくプレゼンテーションをすることができ、準備してきた成果を十分に発揮できました。



また、初めての試みとして支援学級や支援学校、老人ホームを訪問させていただきました。どの施設でも、職員の方々の温かいサポートを得ながら、歌や踊り、プレゼンテーションを披露することができました。老人ホームでは、施設利用者の方々と直に接するなかで温かい声をかけていただき、感極まって涙する生徒もいました。

滞在中、生徒たちはベンクスライズ校の授業に本心に熱心に参加していました。特別授業として家庭科(ウェルリッシュケーキ作り)、美術(キーホルダー作り)の授業も用意してくださいました。また、ウエールズ語や体育、中国語の授業などに全員で参加させていただきました。空いた時間にも、それぞれの現地ホストの生徒と一緒に授業に参加したり、自分の興味のある授業に積極的に参加したりしてました。

授業以外にも、用意されていた活動は盛りだくさんでした。授業が終わった後、夕方から海に出かけてサーフィンをしたり、湖でカヌーをしたり、という体験は、日没が遅いウエールズならではの体験でした。また、一日かけて遠足としてハレック城やスノードン山の麓にあるスレート博物館などに出かけたのもいい思い出です。

最終日には、前回の派遣団の一員であり、闘病の末この世を去った久保田君を偲び、彼の夢や志を受け継ぐために植樹が行なわれました。彼の死を悼む多くの知人たちが駆けつけてくれて、盛大なセレモニーとなりました。派遣団の生徒達は、この木が大きくなった姿を見に来たい、と思いを語っていました。

本場に語りつくせないほどたくさんの方々の経験を御礼して、英国派遣ですが、その経験を記録しておくために、生徒たちは帰国後に「年中行事」「遊び」「食文化」の視点から、今回の訪問で気づいたことをレポートにまとめました。詳しくは、「第6回英国派遣報告書」をお読みいただければ、と思います。

今回は、第5回英国派遣よりも2名多い派遣団になりましたが、増えた人数以上に充実し、多くの成果を持って帰ることができたと思います。今後とも、ご支援をいただければ幸いです。

母校教諭 金 義博

リレー・フォー・ライフ in 大手前高校

二〇一三年十月十二、十三日に大手前高校でリレー・フォー・ライフが行われました。当日はこれ以上ないくらい的好天に恵まれ、三千人以上の方が来場され、三〇〇万円以上の募金がありました。

私がこのイベントに関わるようになったのは、母校に着任年後に久保田鈴之介君を担当したことがきっかけでした。昨年の「大手前だより」にも掲載されましたが、久保田君は英国派遣のメンバーに選ばれ、剣道部の主将を務め、担任の私から見ても眩しいような青年でしたが、残念ながら卒業式を迎えることができず、二年九月に貝塚で行われたリレー・フォー・ライフに参加し、そこで大手前高校の卒業生の増田悦子さん(S54卒)に出会いました。彼は大阪の中心にある大手前高校でこのイベントを開催すれば、在校生・卒業生をはじめたくさんの方が来場し、がんについての理解が深まると考え、自ら実行委員長を務めることを決意しました。残念ながら、彼とこの行事に関わることはできませんでしたが、私は彼のクラスメートはもちろん、大変多くの方々とこのイベントに関わることでできました。準備期間から当日まで、実に多くの方々と出会いました。教師という仕事の中で、生徒たちにはたくさんの方々と出会ってききました。久保田君は、私に人と人との出会いとつながりの素晴らしさを教えてくれたと思います。当日のイベントが久保田君から見ると納得のいくものだったかどうかはわかりませんが、「どうだったか」と聞けば「まあ、こんなもんかな」とあの優しい目をして答えてくれるかなと思っています。

同じ母校の教員として、イベントに関わった同級生の川口雅子さんと生徒達の感想を併せて載せます。

母校教諭 中嶋 邦子

リレー・フォー・ライフに参加して

リレー・フォー・ライフには、お昼前から午後五時半くらいまで参加しました。自分自身が「サバイバー」であるにもかかわらず、大手前高校で実施することになるまでは、このイベントについてほとんど知りませんでした。

会場となった大手前高校に到着すると、予想以上



リレー・フォー・ライフ・ジャパン2013 大阪大手前 2013.10.12-13

会場となった大手前高校に到着すると、予想以上にたくさんの方がいて驚きました。大手前の生徒たちがたくさんボランティアで参加していただけでなく、高津高校や旭高校などからも生徒や先生方がクラブの合間をぬってたくさん参加してくださっていました。参加していた人たちが、このイベントを本当に楽しんでおられたのも印象的で、このように「楽しむ」ものではないけれど、このように「楽しむ」ということも実感しました。

癌との闘いには有効な治療がもちろん欠かすべしませんが、闘う気力が結果を左右する面も少なくないように感じています。このようなイベントで同じように癌と闘っている仲間や、その闘いに理解を示し、励ましてくれる人たちと出会う語り合うことは、患者に勇気を与えていると思います。

母校教諭 川口 雅子

生徒感想1

イベントを通して様々な年齢、境遇の人たちと交流ができ、また、命についてゆっくり考える機会を持てたこと、あれほど大勢の人が誰一人自分の利益を求めず二つの目的のために集まったということに、本当に感動しました。

生徒感想2

久保田先輩がきっかけでRFLに参加しました。RFLに参加するのは初めてでしたがチャリティーイベント自体参加したことがありませんでした。でも久保田先輩がこのRFL in 大手前に対して抱いていた強い気持ちを聞いたときから絶対成功させるという思いでいっぱいでした。「成功」「失敗」というものではないのかも知れないけれど、実行委員としてしてきたことは、すごく良い思い出です。また久保田先輩のことだけでなくRFLには多くのサバイバーの方々が、ボランティアの方々がおられ、その数にびっくりしました。がんと闘うのががん患者だけじゃなくて、みんな、僕たちができることは数少ないけれど、一人一人の力で支えることができる。「頑張れ」「じゃなくて」「一緒に頑張ろう」が大事だ、ということを実感しました。

第14回国際グリム賞

贈呈式が開催される
キンバリー・レノルズ博士(英国)が受賞

二〇一三年十月二十七日(日)、大阪国際交流センター(大阪市天王寺区)で受賞者のキンバリー・レノルズ博士を英国から迎えて、第十四回国際グリム賞贈呈式及び記念講演会が行われました。

当日は日本イギリス児童文学会の会員の皆さんも参加され、大阪国際児童文学振興財団の三宅興子理事長による挨拶に続き、金蘭会の安橋興二郎会長より正賞の盾及び副賞が授与されました。続いて大阪府教育委員会の津田仁教育監からお祝いの言葉が述べられ、最後にレノルズ博士の受賞の言葉をもち、授賞式は終了しました。

受賞の挨拶の中で、レノルズ博士は「国際グリム賞は、二十七年前から今日に至るまで、児童文学の研究者に与えられてきた唯一の大きな賞です。私は賛嘆の念を持って歴代の受賞者を見守っていましたが、私自身がこの場に立つて、この名誉ある賞を頂けるとは想像もしていませんでした。」と語っておられました。

続いて行われた記念講演会で、レノルズ博士は「知られざる英国児童文学史 一九〇年―一九四九年の見返り」されてきた作品を中心に、「(通訳…

第14回国際グリム賞 贈呈式



松下宏子氏)と題して、英国児童文学史の中で「不毛な時代」と呼ばれる時期に出版されていた偉大な児童文学作品とその時代背景、芸術等との関連について語られました。また、これらの作品が時代や政治的な要因から、英国児童文学史上、無視されてきた事実についても言及されました。

パワーあふれる講演は、博士の英国児童文学研究の第一人者としての研究に対する熱意をひしひしと感じさせました。また、金蘭会からは、副会長の石田良二氏や会計理事の田原由夫氏からも出席され、会場は百数十名の参加者で賑わっていました。

(国際グリム賞委員会委員長
S 30卒 多田 嘉孝)

*「大阪国際児童文学振興財団」は、公益財団改革により「大阪国際児童文学館」から名称変更したものです。

会務報告書

平成二十五年年度 事業報告

- (1) 一般事業
 - ① 定時評議員会
 - 平成二十五年四月二十日(土)
 - 於 金蘭会ホール
 - (出席四十五名・委任状二〇名 成立)
 - ② 事業報告 収支決算 承認
 - ③ 事業計画 収支予算 承認
 - ④ 金蘭会会則一部改正の件 承認
 - ⑤ 財団法人金蘭会の一般財団法人金蘭会への移行の件 報告
- (2) 理事会
 - 第一回 平成二十五年七月 六日(土)
 - 第二回 平成二十五年九月二十一日(土)
 - 第三回 平成二十五年十一月三十日(土)
 - 第四回 平成二十六年一月二十五日(土)
 - 第五回 平成二十六年三月 一日(土)
 - 第六回 平成二十六年四月 十二日(土)
- (3) 「大手前だより」発行
 - 平成二十五年七月
 - (会員二一、六一七名に郵送)
- (4) 新入会員歓迎会
 - 平成二十五年九月八日(日)
 - 於 金蘭会ホール
 - (新入会員百十一名・先生十六名 出席)
- (5) 新年互礼会
 - 平成二十六年一月十八日(土)
 - 於 金蘭会ホール
 - (来賓二名・会員六十五名 出席)
- (6) ホームページ運営
 - WEB金蘭会を随時更新・最新情報を掲載
- (7) 金蘭会セミナー開催
 - 第一六七回 平成二十五年四月 十九日(金)
 - 第一六八回 平成二十五年五月 十七日(金)
 - 第一六九回 平成二十五年六月二十一日(金)

- (1) 第一七〇回 平成二十五年七月 十九日(金)
- (2) 第一七一回 平成二十五年九月 二十日(金)
- (3) 第一七二回 平成二十五年十月 十八日(金)
- (4) 第一七三回 平成二十五年十一月十五日(金)
- (5) 第一七四回 平成二十五年十二月十三日(金)
- (6) 第一七五回 平成二十六年二月 十四日(金)
- (7) 第一七六回 平成二十六年三月二十八日(金)
- (8) パソコンスクール運営
 - 原則として毎週月・金曜日に開催
- 二、特別事業
 - (1) 母校主催事業に対する援助
 - 母校生徒の集中セミナー費補助など
 - 英国ウエールズへのベンダグライス校へ
 - 母校生徒派遣支援
 - 第十四回国際ogram賞の最終選考と贈呈
 - (2) 母校国際交流事業に対する援助
 - (3) 母校視聴覚教室
 - 於 母校 視聴覚教室
 - 「大手前だより」発行
 - 平成二十六年七月
 - (4) 新入会員歓迎会
 - 平成二十六年九月七日(日)
 - 於 金蘭会ホール
 - (5) 新年互礼会
 - 平成二十七年一月十七日(土)
 - 於 金蘭会ホール
 - (6) 金蘭会セミナー開催
 - ホームページ運営
 - パソコンスクール運営
 - (7) 特別事業
 - (1) 母校主催事業に対する援助
 - (2) 母校国際交流事業に対する援助
 - (3) 母校海外派遣事業に対する援助
 - (4) 第十五回国際ogram賞の予備選考

平成二十六年年度 事業計画

- (1) 金蘭会推奨クルーズ
 - 平成二十六年五月二十三日(三十一日)
 - 台湾・南西諸島方面
- (2) 役員選出委員会設置
 - 母校創立一三〇周年
 - 金蘭会創立一二五周年記念事業準備
- (3) 理事会開催予定日
 - 第一回 平成二十六年六月 十四日(土)
 - 第二回 平成二十六年九月 十三日(土)
 - 第三回 平成二十六年十二月 六日(土)
 - 第四回 平成二十七年一月二十四日(土)
 - 第五回 平成二十七年三月 七日(土)
 - 第六回 平成二十七年四月 十一日(土)
- (4) 金蘭会セミナー開催予定日
 - 第一七七回 平成二十六年四月 十八日(金)
 - 第一七八回 平成二十六年五月 十六日(金)
 - 第一七九回 平成二十六年六月 二十日(金)
 - 第一八〇回 平成二十六年七月 十八日(金)
 - 第一八一回 平成二十六年九月 十九日(金)
 - 第一八二回 平成二十六年十月 十七日(金)
 - 第一八三回 平成二十六年十一月一日(金)
 - 第一八四回 平成二十六年十二月十九日(金)
 - 第一八五回 平成二十七年二月 十三日(金)
 - 第一八六回 平成二十七年三月 二十日(金)
- (5) ◎予告
 - 平成二十七年年度の定時評議員会は、平成二十七年四月十八日(土)十四時からの予定です。



平成26年4月19日(土)の定時評議員会では、会に先立って母校吹奏楽部の演奏会が行われ、評議員の皆さんからも大変素晴らしい声援の音が上がっていました。

金蘭会組織

(平成二十四年度)二十六年年度

書記	福味 真樹	監事	中川 康一
会計	大鍛治 和美	総務	五十嵐 祥晃
副会長	田原 由夫	総務	横幕 久治
会長	石田 良一	総務	安積 香代子
	岩田 和歌子	委員	留井 恵子
	安橋 興一郎	委員	石田 良一(兼任)
		委員	田原 由夫
		委員	岩田 和歌子
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員	石田 良一
		委員	福味 真樹
		委員	大鍛治 和美
		委員	横幕 久治
		委員	田原 由夫
		委員</	

平成26年度予算

一般会計 (平成26年 4月1日～平成27年 3月31日)

(1) 収入の部

単位(円)

目	予算	備考
人会費 @5000	1,800,000	350名
年会費 @2000	5,000,000	@2,000/名
賛助金	4,000,000	@2,000/11
名簿売上		
権利収入	250,000	
寄付		
合計	11,050,000	

(2) 支出の部

単位(円)

目	予算	備考
【運営費】	2,976,600	
事務局費	2,326,600	付記1
会議費	100,000	
慶弔費	550,000	
【一般事業費】	3,550,000	
大手前だより発行費	2,500,000	
新入会員歓迎会	450,000	
IT関連費	400,000	
金蘭会セミナー補助金	200,000	
【特別事業費】	3,670,000	
母校への支援	1,000,000	
母校の国際交流事業支援	400,000	
国際プログラム賞		財団法人の支援に変更済
母校の海外派遣事業支援	2,200,000	母校海外派遣事業支援基金へ
文庫資料補修	40,000	
会員名簿整理	30,000	
【予備費】	300,000	
支出小計	10,496,600	
【当期収支差額(繰越金)】	553,400	
合計	11,050,000	

付記1 事務局費明細

単位(円)

目	予算	備考
運営助手手当	550,000	
データ処理委託費	100,000	前年まで運営助手手当として計上
事務用品費	250,000	
通信費	200,000	
印刷費	160,000	
電話料	120,000	
会館運営費	310,000	2Fホール清掃予定を含む
払込手数料	270,000	年会費などの振込料
複合機リース料	291,600	
雑費	75,000	主たる出金：火災保険料
合計	2,326,600	

参考：準備金・基金の予定

単位(円)

名目	26年度当初	入会予定	出会予定	26年度期末
会費準備金	6,833,240	0	0	6,833,240
金蘭会創立120周年基金	4,420,351	0	0	4,420,351
金蘭会クルーズ準備金	600,000	0	0	600,000
母校海外派遣事業支援基金	2,800,000	2,200,000	2,200,000	2,800,000

平成25年度決算報告書

一般会計 (平成25年 4月1日～平成26年 3月31日)

(1) 収入の部

単位(円)

目	予算	決算	備考
人会費 @5000	1,800,000	1,790,000	358名
年会費 @2000	4,800,000	4,954,000	納入会員数2,423名
賛助金	1,900,000	4,045,000	匿名募志220万円を含む
名簿売上	100,000	171,290	付記1
権利収入	250,000	337,541	付記2
寄付		75,042	
合計	8,850,000	11,372,873	

(2) 支出の部

単位(円)

目	予算	決算	備考
【運営費】	2,923,500	2,400,568	
事務局費	2,443,500	1,922,756	付記3
会議費	100,000	69,409	付記4
慶弔費	380,000	408,403	
【一般事業費】	3,650,000	2,853,502	
大手前だより発行費	2,500,000	2,125,689	
新入会員歓迎会	450,000	398,213	付記5
IT関連費	400,000	204,733	
金蘭会セミナー補助金	300,000	124,867	付記6
【特別事業費】	2,560,000	4,729,404	
母校への支援	1,000,000	1,000,000	
母校の国際交流事業支援	1,500,000	1,500,000	
国際プログラム賞			財団法人の支援に変更
母校の海外派遣事業支援		2,200,000	母校海外派遣事業支援基金へ
文庫資料補修	30,000	25,251	
会員名簿整理	30,000	4,150	
【予備費】	300,000	0	
支出小計	9,433,500	9,983,474	
【当期収支差額(繰越金)】	△583,500	1,389,399	
合計	9,433,500	11,372,873	

付記1 名簿売上収入

単位(円)

収入科目	金額	支出科目	金額
名簿申込 @5500×46冊	253,000	返金 10冊	55,000
		寄付に転替 1冊	5,500
		発送料 35冊	19,425
		振込手数料	1,783
		一般会計収入に振替	171,290
合計	253,000	合計	253,000

付記2 雑収入

単位(円)

収入科目	金額	備考
会館利用料	206,000	
コピー料	40,480	
データ料	39,760	
その他	51,301	クリアファイル48,000、預金利息2,301等
合計	337,541	

付記3 事務局費明細

単位(円)

目	予算	決算	備考
運営助手手当	700,000	601,910	参考：データ処理委託費 59,550
交通費	5,000	0	
事務用品費	250,000	170,907	
通信費	230,000	147,630	
印刷費	160,000	144,796	
電話料	130,000	115,033	
会館運営費	310,000	152,786	
払込手数料	300,000	240,060	会費などの振込料
複合機リース料	283,500	283,500	
雑費	75,000	66,135	主たる出金：火災保険料
合計	2,443,500	1,922,756	

付記4 新年互礼会(会費の一部)

単位(円)

収入科目	金額	支出科目	金額
会費@5000×45名	225,000	会食費	256,849
寄付	30,000	参加費・景品	101,579
一般会費引当金	11,513	案内状印刷代	8,085
合計	366,513	合計	366,513

付記6 金蘭会セミナー

単位(円)

収入科目	金額	支出科目	金額
年会費	182,000	会食費	924,000
当日会費	880,000	講師料	162,000
販入物代	32,400	印刷費	100,000
一般会費引当金	124,867	庶務(名簿)・IT・事務費等	54,207
合計	1,240,267	合計	1,280,207

付記5 新入会員歓迎会

単位(円)

収入科目	金額	支出科目	金額
寄付	70,000	会食費	346,638
当月会費引当金	3,540	参加費・景品	115,239
一般会費引当金	398,213	案内状印刷代	9,883
合計	471,753	合計	471,753

次年度以降会費引当金

単位(円)

収入科目	金額	支出科目	金額
前年度繰越金	300,000	期首繰越金	600,000
今年度年会費引当金	△72,000	一般会計(母校の海外派遣事業支援)	2,200,000
今年度年会費引当金	170,000	期末繰越金	2,800,000
期末繰越金	438,000		

2 貸借対照表(平成26年3月31日現在)

単位(円)

貸借	金額	負債・基金・準備金	金額
現金	75,346	預かり金・基金・準備金	438,000
普通預金(三井住友)	83,051	金蘭会運営準備金	6,833,240
普通預金(三井住友)	12,914,656	金蘭会創立120周年基金	4,420,351
郵便口座	17,155,381	母校海外派遣事業支援基金	2,800,000
		金蘭会クルーズ準備金	600,000
		仮受金	11,000
		小計	15,102,591
		剰余金	
		前期繰越金	13,736,414
		当期剰余金	1,389,399
		小計	15,125,843
合計	30,228,434	合計	30,228,434

平成25年度決算を、貸借対照表・収支決算書(付属書類を含む)の通り報告致します。

平成26年3月31日

金蘭会 会計理事 昌井 昌博
会計理事 田原 出夫

監査報告

このたび、平成25年4月1日から平成26年3月31日までの決算について、監査を行いましたところ、適正かつ正確でありましたことをご報告申し上げます。

平成26年4月10日

金蘭会 監事 五十嵐祥晃
監事 中川 康一

金蘭会ホールのご案内

運営委員会

〈事務局からのお知らせ〉

金蘭会館へのお車でのご来館はご遠慮いただいております。特別に事情がある場合は、事前に金蘭会事務局にご連絡ください。学校と相談してお返事いたします。

金蘭会パソコンスクール 金蘭会館2階ホール



入退随時・自由出席・初心者歓迎

受講生の進度目的に合わせてマンツーマン対応
パソコン持参・スクールのパソコン使用のどちらでも可
クラブ的な雰囲気 3時のティータイムも楽しみ

インターネット・メール・ワード・エクセル・デジカメ
写真加工・年賀状・名刺・案内状・住所録・CD/DVD・パワーポイント等々
総勢17名の同窓生お助けバースンが交代で夫々の持ち味を活かしてお手伝い

予約なし手ぶらで見学OK

下記の開催日に一度覗いてみてください

まだパソコンをお持ちでない方も大丈夫

年内の開催スケジュール 月・金曜日に年間60回程度開催
7月 25・28 13:00~17:00
8月 22・25 2時間×2コマ 計4時間
9月 5・8・12・22・26・29 参加費 2時間あたり500円
10月 3・6・10・20・24・27・31
11月 7・10・14・17・28
12月 1・5・8 連絡先 tel/fax 0743-78-4847 五十嵐
金蘭会ホームページ http://kinran.jp/のパソコンスクール欄もご覧ください

金蘭会セミナー 第18期報告

第17期皆勤賞 161回~170回セミナー

岩田 和歌子 S16本卒	長田 澄代 S 30卒
奥田 美貴子 S20本5卒	縄手 ケイ子 S 31卒
大西 千枝子 S22本5卒	小田 純子 S 31卒
中西 由江 S 23卒	竹島 多美枝 S 32卒
賀本 和子 S 25卒	長塚 道子 S 32卒
松岡 弘次 S 25卒	福岡 繁 S 32卒
福渡 澄子 S 26卒	井上 富江 S 33卒
植田 慶子 S 28卒	佐 恵子 S 33卒
岸田 政子 S 28卒	片山 郁子 S 33卒
瀬藤 晴子 S 28卒	安橋 興二郎 S 34卒
赤松 峰子 S 29卒	五十嵐 祥晃 S 34卒
玉野 治子 S 29卒	留井 恵子 S 39卒
岩嶋 邦子 S 29卒	田原 山夫 S 40卒
久保田 和夫 S 29卒	大鏡治 和美 S 46卒
田原 一 S 29卒	福味 真樹紅 S 62卒 (敬称略)

第回	月日	講 演	講 師	巻数
171	平成25年 9月20日	リレー・フォー・ライフとは ~繋げる命、がん患者になって~	増田 悦子氏 (S54卒) リレーフォーライフ大阪実行委員会実行委員長	83
172	平成25年 10月18日	生命科学者の伝記に学ぶ ~野口、北里ら6人の偉人たち~	仲野 徹氏 (S50卒) 大阪大学医学系研究科 教授	95
173	平成25年 11月15日	日本の伝統産業のかたち	加護野 忠男氏 (S41卒) 甲南大学特別客員教授 元神戸大学経営学部長・大学院経営学専攻科長	77
174	平成25年 12月13日	高齢者社会とがん	吉村 成央氏 (S62卒) 大阪市立大学医学部附属病院 化学療法センター主任講師	74
175	平成26年 2月14日	北新地の歴史とその発展 ~現状と今後の展望~	東司 丘 興一氏 (S45卒) 北新地社交料飲協会理事長 大阪府社交飲食業生活衛生同業組合(OSR)副理事長	71
176	平成26年 3月28日	上方落語あれやこれや	くまざわ あかね氏 (H2卒) 落語作家	82
177	平成26年 4月18日	わたしの大好きな大阪のスイーツ	三坂 美代子氏 (S55卒) 株式会社 CUADRO 代表取締役 関西スイーツ代表	71
178	平成26年 5月16日	原発問題について: 医学から見た放射線のリスク評価	中山 昌彦氏 (S32卒) 公益法人 京都中央診療所 顧問 国立病院機構 兵庫青野原病院 内科	78
179	平成26年 6月20日	料理で脳トレ!料理で健康!	山下 満智子氏 (S50卒) 大阪ガスエネルギー・文化研究所主任研究員	78
180	平成26年 7月18日	音楽大國ドイツでのサバイバル生活術	茨田 通章氏 (S57卒) アンハルト・フィルハーモニー ピオラ奏者	未

第19期金蘭会セミナーへのお誘い

平成8年9月から始まった金蘭会セミナーは、講師も受講者も会員で、会員相互の親睦を深め教養を高めることを目的としています。奮ってご参加下さい。

- とき **原則第3金曜日** (1・8月は休み)
PM 6:00~7:00 卓話
PM 7:00~8:00 交流会
 - ところ 金蘭会ホール
〈年会費〉年間1,000円(年10回の往復はがき代)
〈参加費〉当日徴収 1回1,000円(軽食費込み)
 - 申込方法……金蘭会セミナーの年会費1,000円を、「大手前だより」に同封の振込用紙にてお振り込み下さい。振り込んでいただいた方に毎回往復はがきにてご案内いたします。出欠はその都度お返事ください。(同伴・ピジターは1,500円)
- 予告 第181回セミナー 9月19日(金)
テーマ: **宇宙から地球を診る**
~地球環境変動観測ミッション(GCOM)~
講師: **中川 敬三氏**(S50卒)
宇宙航空研究開発機構 先進衛星技術開発室 室長

金蘭会文庫委員会

金蘭会文庫委員会は、金蘭会に保管されている貴重な資料や書籍、写真などを昨年より再調査をおこない、今年度中に、皆様にご覧いただくためのリストを作成する予定です。また、下記資料を探しております。寄贈もしくはお貸しいただける方がございましたら、金蘭会事務局までご連絡ください。

大手前学園新聞

第2号~15号、17号、18号、21号、23号、
24号、26号~28号

大手前新聞

第31号 123号~128号
34号~37号 130号~134号
42号、46号 136号~142号
47号、51号 144号、150号
54号、60号 161号、164号
70号、72号 166号
73号、79号 169号~171号
80号、85号 173号~175号
96号 180号、184号
100号~105号 191号~
120号、121号

(金蘭会文庫委員会委員長 S56卒 横幕 久治)

同好会 ご参加お待ちしております

	身近な法律Q&Aゼミ	俳句ゼミ	スクエアダンス同好会	囲碁同好会
内 容	身近な法律問題(相続・離婚・近隣トラブル・不動産賃借権・金銭トラブル等)について具体的な事例を毎回3問検討しています。また、関連する問題についても解説されるので役立ちます。消費者被害のケースと対応策の資料も毎回配布されています。アットホームな雰囲気です。質問も自由です。気楽な気持ちで少し頭の体操をしてリーガルマインドをつけてみませんか。年1回の刑事事件の法廷傍聴会と忘年会も楽しみます。	俳句の基礎知識を学びながら、四季の移り変わりや、日常の暮らしの中での様々な感情を俳句に詠む楽しさを味わいます。句会や吟行に参加して作句力を養います。初めての方のご参加、大歓迎です。ゼミ当日にご持参いただくものは筆記用具、ノート、テキスト本、歳時記、小型辞書。参加希望者は下記連絡先にファックスにてお申し込みください。	スクエアダンスはアメリカ生まれで世界中で踊られています。踊りを習得すれば、外国に行っても現地の人と一緒に楽しく踊ることが出来ます。男・女のペア4組(8人)が1グループになり、軽快な音楽に乗って踊ります。上から見れば、8人が四角や輪になったり、放射状になったりして、カレイドスコープ(万華鏡)のように次々と形が変わる踊りです。若い人も年配の方も楽しく踊れ、身体の若々しさを保ち頭脳の活性化に役立ちます。	囲碁を知ると知らないのでは、人生の豊かさは大きく異なります。初心者でも先に石をいくつか置く(ハンディ)ことによって、有段者でも互角に対戦することができます。ルールのイロハから手ほどきします。超初心者の方も何人もおられます。体験コーナーも大歓迎です。点数をつけて相互対局も楽しんでいます。
講 師	弁護士 田中宏幸氏 (S49卒)	NHK学園俳句講師 池田泰子氏 (S29卒)	インストラクター(コラー) 水澤健一氏 (S34卒)	塩見能和氏 (S39卒)
日 時	平成26年: 4/18(金)、6/20(金)、8/28(木)、 10/23(木) 午後3時~5時(金蘭会館2階) 9/17(水): 午後0時45分~午後3時 (法廷傍聴会: 大阪地方裁判所) 12月未定(忘年会)	平成26年: 5/16(金)、7/18(金)、9/19(金)、11/21(金) 平成27年: 1/9(金)、3/20(金) 午後1時30分~4時30分	毎月第2・第4月曜日(8月は休み) 午前10時~12時 状況により変更がありますので、詳細はWEB金蘭会をご参照ください。	毎月 第1木曜日 午後1時~4時30分
費 用	年会費 5,000円 (会場費、資料代、お菓子、忘年会費込み)	年会費 5,000円 開催日にご持参ください。全6回の会場費、資料代、用紙代等々として。	入会金 1,000円(継続の方は無料) レッスン料 500円/回	年会費 5,000円
お 問 い 合 せ	田中宏幸氏 (S49卒) TEL: 06-6630-3005	講師 池田泰子氏 (S29卒) TEL/FAX: 0745-45-1720 幹事 廣田允義氏 (S30卒) TEL: 06-6852-6688	水澤健一氏 (S34卒) TEL: 090-7103-2690 e-mail: kenmiz0912@gmail.com	塩見能和氏 (S39卒) TEL: 090-8828-8945 e-mail: shiomi-5521-omura@docomo.ne.jp

金蘭会ホール使用要領

1. 使用対象者
金蘭会会員、金蘭会会長又は大手前高等学校長が認めた者
2. 使用可能日時
原則として火、木、土曜日
午前11時~午後4時、午後5時~午後8時
上記以外の日時については事務局にご相談ください。
3. 申込について
①事務局に申込む。
TEL06-6942-3947 FAX06-6942-4124
使用希望日が重複した場合は先着順。
②事務局から申込者に申込用紙を送る。
③申込者は用紙に所定事項を記入して事務局に送る。
④事務局より申込者へ許可証を送る。
⑤許可証を当日持参のこと。
⑥寿司、軽食等の出前希望のときは、申込書にその旨を記入のこと。
4. 使用料金

	午前11時~午後4時	午後5時~午後8時
会議室(30名~50名)	3,000円	5,000円
談話室(20名~30名)*	3,000円	5,000円

*サラウンドシステム・スクリーン完備
5. その他
使用目的が同窓会活動に著しく逸脱する場合は許可しません。使用においては学校敷地内であることを配慮のこと。予約利用状況は、http://kinran.jp/sche/sche28.cgi で確認できます。

各委員会より

▼IT委員会

IT委員会は金蘭会のホームページとパソコンスクールの運営を担当しています。

ホームページ部 (部長 吉田康一 S37卒)

現在は部長を中心に6名の中核部員が「WEB金蘭会」の更新を担当しています。

一方、IT委員も全員がホームページ部員を兼務し、各種取材、原稿作成など情報提供面でのサポートをしています。

「WEB金蘭会」からは、時々の同窓会活動の状況や母校の動向などが様々な形で発信されていますが、蓄積された資料は各時代の貴重な記録ともなっています。

また委員の皆様からの住所変更届や学年会等の案内掲載依頼、その他各種事務局への連絡にも活用されています。皆様のパソコンの「お気に入り」にぜひご登録いただきたくお願いいたします。

パソコンスクール部 (部長 五十嵐祥晃 S34卒)

月、金曜日の午後に年間六十日程度スクーリングを開催しています。詳細は、本「大手前だより」9頁の「金蘭会ホール」案内に掲載されています。入退随時、自由出席のアットホームな雰囲気の中で、それぞれの受講生の目的にあったマンツーマン対応が特色です。関心をお持ちの方は開催日に一度覗いてみてください。お待ちしています。

(IT委員会委員長 S35卒 山口 高弘)

▼名簿委員会

委員の皆様方には平素から名簿委員会の活動にご協力いただきありがとうございます。平成二十三年に刊行されました会員名簿も三年近くがたち、宛先不明で返送され

る。大手前だよりの数がだんだん増えてまいりました。この新聞は金蘭会と会員とを結ぶ年一回のみの貴重な絆であり、できるだけ多くの方にお届けしたいと願っておりますので、住所その他の変更は速やかに金蘭会名簿委員会までご通知ください。

また、毎年お願いしていることですが、学年会、クラス会、支部会、同好会、クラブOB会等を開催されました折には、その時に判明した会員の消息、変更を名簿委員会にご提供くださるよう併せてお願いいたします。もちろん個人情報管理には細心の注意を払っておりますので、今後とも名簿委員会への協力をよろしくお願いいたします。

平成二十三年刊行の会員名簿は、まだ残部がございます。記載の内容に多少の変更が生じておりますが、もし購入ご希望の場合は金蘭会事務局までお申し出ください。

(名簿委員会委員長 S33卒 石川 温子)

▼母校支援委員会

本年度の母校支援の内容には、匿名で母校発展に役立てて欲しいと御寄付をいただいたお一人の篤志家の御意向を受け、母校の海外派遣支援事業が新たに加わりました。具体的には、イギリスのケンブリッジ大学に派遣される10名に支援することになりました。

また二〇〇三年から始まった英国ベンケライス校との交流は、本年度で相互に六回ずつ、合計十二回となり、百名近い生徒達が交流することになります。

年々発展する母校への支援は大変意義のあることであり、これも会員皆様のご支援、ご協力があったからこそ実行出来るものです。今後とも宜しくお願いいたします。

(母校支援委員会委員長 S27卒 升谷博)

▼行事委員会

新入会員歓迎会

昨年九月八日(日)金蘭会ホールに於いて、平成二十五年卒の新入会員百十二名、先生十六名出席のもと開催しました。

美味しいお料理とケーキや果物、出席者全員への参加賞、先輩会員ご提供の豊富な賞品によるゲーム等で、新入会員を歓迎しました。卒業後初めての学年会で、参加してくださった十六名の先生方や同窓生との会話が弾んでいました。

この歓迎会が、今後の同窓会活動への理解と参加につながることを願っています。

なお、当日の写真は、金蘭会のホームページ(http://kinan.jp)にアクセスし、サイドメニュー「新入会員歓迎会」からご覧ください。パスワードは、shinranです。

(行事委員会委員長 S40卒 安積 香代子)



皆で校歌斉唱
(昨年の新入会員歓迎会より)

天候に恵まれた 金蘭会推奨クルーズ

五月晴とは言わないまでも、梅雨期の沖縄・台湾の天候が全て雨なしでクルーズ日和を楽しめたことは、全くラッキーでした。おかげさまで全員楽しい八泊九日を過ごすことができました。

これひとえに平素の行いの良い者同士の集いであったと感謝しております。船内では、岸田善三郎先生に「歴史に学ぶ」という内容で日台関係の過去から今日までを分かりやすくお話していただきました。

沖縄では、東京から沖縄に移住された、ゆたかはじめ先生(本名石田穰)、元東京高等裁判所長官が沖縄の過去・現在を中国との関係や日本との関係について詳しくお話し下さいました。このお二人の先生には、共通しているかに平和が大切かを学ばせて頂きました。



まさに訪れた土地から学び心の糧となるクルーズでした。次回は二〇二六年の第四回金蘭会クルーズとなることを期待しています。どんな趣向を凝らしたものになるか楽しみです。(S29卒 上川庄二郎)

★船上句会の作品より

- 万緑の底大理石にびかり (S29卒 池田 泰子)
- 唐人の墓に寄り添う仏桑花 (S34卒 安橋興二郎)
- 燕の子太魯閣断崖植とす (S29卒 岡本 幸枝)
- 首里城の御獄は若葉額垂れる (S50卒 平田 美砂)
- 昏れなすむ春の島影浮標光る (岸田善三郎先生)
- たんぼぼと漏刻の故事聴きにけり (岸田善三郎先生)
- 木曳門車椅子押し月桃花 (上川庄二郎夫人)
- デッキ涼し留守居の夫に想い馳せ (S32卒 竹島多美枝)
- 島々の歴史を巡る夏の航 (S39卒 留井 恵子)
- 沖縄は梅雨を忘れしカナリヤよ (S35卒 堀内 勲)
- 仏桑花明るさ秘めて今日も咲く (S30卒 廣田 允義)
- 日盛りに庄巻の深心打ち (S29卒 赤松 峰子)
- 初夏の海波切る先は台湾よ (中川哲子 安橋友人)

平成二十六年卒の皆様へ

今年度の新入会員歓迎会を、母校の文化祭の日程に合わせて開催します。

日時 平成二十六年九月七日(日) 十二時三十分より

場所 金蘭会館二階 金蘭会ホール

会費 無料

内容 立食パーティー、ゲーム

詳細は、往復はがきにてご案内いたします。金蘭会のホームページから申し込みます。

メールでの申し込み締め切り

八月二十一日(木)

◎奮ってご参加ください。

学年会だより

紫蘭会 だより

(昭和二十年)四卒

昭和十六年、日米開戦の年に入學、終戦の二十年に、學業を年短縮して卒業を強いられた私達は、長い大手前の歴史の中で最も稀有な存在ではないでしょうか。今年は何と八十五歳になりました。戦後直ぐはともかく、中年以降、学年会はほぼ毎年開催しています。今年も四月四日に母校とお城と、折から満開の桜を目前に、K&Rホテルで開催。遠くはカナダ在住の人、福岡、金沢、岡山……と三十八名が参集、とても賑やかで楽しい会が出来ました。森ノ宮の軍需工場「造兵廠」、大阪城下の「兵器補給廠」などで、空爆の恐ろしさを堪え抜いて来た私達の目

に、大阪城公園はひときわすばらしく、平和の有り難さを感じ入りました。暗い思い出は、もう語らずとも、懸命に越えて来たことの自負の思いは、みんなの胸で、しっかりと繋がっています。そして、平和への歎びと希求は、人一倍強いことと信じます。

さすがに寄る年波、いささか脚腰の支障などが出て来る様になりましたが、皆とても元気く、「そろそろ学年会を閉じましょうか」なんて言葉は微塵も出ず、「又、来年も、再来年も……」と意気軒昂、懐かしい校歌を高らかに斉唱して、散会しました。

文責 御木 英子・中島 栗代

歳々年々人不同

(昭和二十六年)卒

「年々歳々花相似たり 歳々年々人同じからず」司会の森博さんの漢詩の紹介から始まった三期卒業生の学年会は、昨秋十月六日ホテルグランヴィア大阪で幕を開けた。

参加者は女子四十二名男子三十名、北野高校卒業生有志の友情参加十名を加えて、総数八十二名の盛会であった。元成人病センター病院長正岡徹氏の「私の健康法」と題する貴重なお話をお聞きした後、懇親会に移り、懐かしいメロディが流れる中、会いたかった人に会えた喜びで、懐旧の話の輪が広がった。今回の学年会での重要な決定は、慶弔会の解散であった。従来同期生の物故者に申意を表すことを主たる目的として運用してきたが、高齢化で所期の目的は達したと判断された。

終宴近く、女性ハーフトリオのポピュラー曲演奏を楽しんだ後、北野と大手前卒業生が肩を並べて両校校歌を大合唱して、一次会は閉幕した。続いて同会場で、二次会のカラオケ大会を開き、のど自慢の方々の美声を堪能し、四時間半にわたる楽しい会を終了した。東京オリエンティックが開催される二〇二〇年には、我々の大半が米寿を迎えるので、これを「ベジュリニック」と名付けて、その

日まで元気で生き続けることを誓って散会した。

次回は、四組五組が幹事で、十月に「バノラレストラン アサヒ」で開催予定です。

文責 山本 隆造

四期生学年会報告

(昭和二十七年)卒

今年も山々の緑が美しい季節を迎え、学年会のシーズンを迎えた。私達四期生も昨年と同じ六月二十七日に、卒業六十二周年の学年会を開催した。昨年と少し趣を変え、昨年新装となったフェスティバルタワーの三十七階「ラフエットひらまつ」で展望を楽しみながら、六十年を超える友人達とゆつくりと語り合い楽しい一刻を過ごした。岸田・杉野両先生も、お元気な顔を見せていただき、会を盛り上げていただいた。全員が八十才台になったが、少なくとも卒業六十五周年を目指して参りたいと思います。皆さんも、お元気で過ごして下さい。

文責 升谷 博

六期会卒業六十年記念学年会を神戸で開催

(昭和二十九年)卒

六期会の皆さん、お元気にいらっしゃいますか。昨年は十月二十四日に七十二名が参加し、桑原氏のお世話で天満橋・東天紅にて学年会を開催。その後、淀川クルーズを和やかに楽しみました。

今年も、私たちの学年にとつては卒業六十年という節目に当る記念すべき年になります。また来年は誕生まれの方が傘寿を迎えます。このような学年会を意義あるものにして、とうとう幹事一同熟慮の結果、今年の学年会を左記のとおり企画しました。奮ってご参加ください。お待ちしております。

記

一 実施日 二〇一四年一月二日(木)

二 ところ 神戸オリエンタルホテル

&神戸市立博物館

三 時間 午前十一時三十分

四 会費 九五〇〇円

五 錦絵鑑賞 懇親会終了後、南隣りの博物館にて、上川氏寄贈の「明治鐵道錦絵展」を鑑賞。随時流れ解散。

詳細は別途皆さんにお知らせします。で、そちらでご確認願います。

幹事一同

語らいを心行くまで

(昭和三十三年)卒

我々昭和三十三年卒、第十期卒業生は結束の固さを誇っています。

若くして亡くなった西正中さん、現学年代表評議員の石川温子さんを始め、献身的にお世話役を買って出て下さる方々のお蔭です。

学年会その他、分科会的に、ハイキング、テニス、ゴルフ、カラオケ、グルメ等々を楽しむ同好会もあり、多彩に活動しています。

本年は、些か殺伐とした響きのある「後期高齢者」に我々も仲間入りすることになり、流石にここに来て黄泉の国へぼつぼつ旅立つ学友も出て参りました。そんな中、元氣な内に積極的に旧交を温めておきたい、と男性二名女性二名の四人体制で幹事を順に担当し、毎年定例的に学年会を開催しています。

「語らいを心行くまで」乃至「語らいが馳走」を会運営の中心に据え、「シンブルイズベスト」を基本理念として展開しています。

今年も昨年同様、ホテル阪急インターナショナルを会場として十月二十日に開催します。二十日は第三木曜日、ポジョレーヌーボの解禁日です。若々しいワインを傾けながら大いに語り合いたいと思います。

七十五歳の平均余命は女性で約十五年、男性は十二年余りです。女性はまだ先が長いが男性は些か忙しい。この残された日々を年々歳々濃密な時間にするを願っています。

文責 日下 總一

五十五周年記念一一会 学年会

(昭和三十三年卒)

卒業五十五年という節目の年を迎え、六月二十日(土)、リーガロイヤルホテル大阪桂の間で、恩師 岸田善三郎先生、杉野としゑ先生、井上(松原)澄子先生をお迎えして、学年会を開催しました。

当日の参加者は九十二名、東京や九州からも集まった仲間たちと旧交を温めながら、幹事が苦勞して作成した欠席者の近況報告、覽表を眺めて安心したり心配したり、話題は尽きず、二次会の国際会議場キユーブサンクにはほぼ全員が流れ込みました。

なお、関西経済連合会会長(関西電力会長)の森 祥介君も忙しい中を駆けつけ、現役として活躍している様子を披露してくれました。

幹事同

九十八名が集う 五十年周年

(昭和三十三年卒)

五月十八・十九日、京都国際ホテルにおいて、卒業五十年を祝う記念同窓会が開かれ、九十八名が集いました。

初日は、節目の同窓会とあつて、関西はもとより東京、スイス、オーストラリア等遠方からも大勢が参加し、久しぶりの再会に近況報告など賑やかに情報交換が行われ、熱気溢れる会合となりました。二次会だけでは物足りないとはかりに、六十余名が同ホテル内の二次会会場に移動し、カラオケや思い出話に花を咲かせ、盛會裡に終了することができました。さらに宿泊者三十数名を中心に幹事部屋で三次会を行い、賑やかに夜は更けていきました。

翌日は、二十数名参加のもと、世界遺産の京都二条城や新緑鮮やかな真如堂、暮末に会津藩松平容保が本陣を置いた金戒光明寺を拝観したあと、懐かしの母校を訪問し、栗山

校長先生から

母校の近況説明を受け、校内見学を行いました。その後、思い出の「ぼん繁」で、久しぶりのお好み焼きを堪能し、解散しました。

なお、各人の近況報告を掲載した記念誌を出席者全員に配布したほか、五十年周年記念として、母校に屋外ベンチ三脚を寄贈することが承認されました。

文責 石田良



「予告」卒業五十年記念 学年同窓会開催のご案内

(昭和四十年卒)

私達は、来年三月で大手前高校を卒業して五十年という大きな節目を迎えますが皆様如何お過ごしでしょうか。

「あつという間の半世紀」でしたが、この度下記の要領で学年同窓会を開催いたします。来年四月の開催ですが、是非予定に入れておいてください。改めて封書にて学年同窓会のご案内をさせていただきます。

在学中いつも目にしていた大阪城と母校を眺めながら、多くの再会の喜びが生まれますよう、たくさんの方々のご参加を願ってやみません。

なお、一人でも多くの同窓生にご案内したいと思っております。ホームページ「大手前高校40年卒」

URL (http://homepage3.nifty.com/ootamae40/)

の「お願」→「所在不明者の調査依頼」をクリックして「所在不明者覽」をご覧ください。所在ををご存知の方がいらっしゃいましたら40年卒ホームページの「Eメール」からご連絡ください。よろしくお願いいたします。

記

日時 平成二十七年四月五日(日)

午後十二時開始

場所 KKRホテル大阪 十四階 オリオン

大阪市中央区馬場町二二四

幹事同

大手前四一会・学年会のお知らせ

(昭和四十一年卒)

高校十八期の学年会を次の通り開催いたします。

☆とき：十月十三日(月) 祝午後三時から五時半

☆ところ：ホテルグランヴィア大阪(大阪駅)

それなりの年齢を重ねていても、恩師を囲み、旧友と集えば、大手前時代がよみがえります。昔を、今を、これからを、楽しく語り合ひましょう。皆さまお誘いあわせのうえ、是非のご参加をお待ち申し上げます。

学年幹事一同

還暦記念熱海同窓会の報告

(昭和四十七年卒)

一昨年の卒業四十周年の学年同窓会は、恩師にもご出席いただきハイアットリージェンシー大阪に総勢二〇六名が集まり盛大に催され、その勢いを駆って標題の会を今年三月一日、二日、KKRホテル熱海にて二泊二日の日程で執り行いました。

北は北海道、南は台湾から四十四名の同窓が参集し、大宴会から始まり、余興の寸劇「金色夜叉」は芸術性高く、二次会音楽の時間では姫の歌に酔い、部屋に分かれて深夜に及んだ分科会まで、とても全員六十

歳とは思えない羽目が外れた楽しいイベントとなりました。いくつになっても、お泊り保育は大変勉強になります。学年の風紀委員を担当している私はお陰さまで大忙しでした。また初日にはゴルフ愛好家の有志十五名が集まって、名門レイクウッドゴルフクラブでコンペも開催。遠方にも拘わらず女子三名が参加され、厳しい中にも華のある競技会となりました。労をお取りくださった幹事各位に代わりまして上記「報告いたします」。

そろそろ暇になる者も出始めた我々学年では、節目のイベント以外にも色んな切り口(同好スポーツや趣味、京阪沿線仲間、上京・帰阪者を囲む会 など)でミニ同窓会が東西で開催されており、普段の努力が大きな成果になるものと実感。次はあつと言つて間の卒業四十五年会で、元気にまた全員集合したいと思ひます。

文責 小澤 通

昭和四十九年卒。たより

(昭和四十九年卒)

前回、平成二十四年十二月三日(土・祝)、ハイアットリージェンシー大阪のゲストハウスでの学年会から早二年が経ちます。今回は平成二十八のオリンピックの年になります。会場は母校近くで行い、二次会は母校内の金蘭会館二階の予定です。ご期待下さい。

四十九年卒生限定のSNSが平成二十年から始まり、日々活発に交流されています。日本全国から、はたまた海外赴任先の中国や海外旅行先からも参加があります。SNSを通してプチ同窓会があちこちで行われており、各種サークルやアーティストのファンクラブまでできています。SNSにちよつと入つてみようかなと思われの方は、紹介制ですので私までご連絡下さい。

次回の学年会のご案内を差し上げる都合上、ご住所に異動がありましたらご連絡をお願い致します。

文責 田中 宏幸

TEL: 06-6630-3005 (昼)
FAX: 06-6630-3015

卒業二十五周年同窓会開催のご案内

（昭和五十四年卒）

二〇二〇年二月以来の学年同窓会のご案内です。今回は母校でのイベントを含め、ゆかりの地「天満橋」での開催です。

皆さん、五年ぶりの同窓会で、「青春時代にバック・トゥ・ザ・フューチャー」しませんか！

〇日時 二〇二〇年十月二十二日（土）

午後二時～五時

〇場所 錦城閣（大阪キヤッスルホテル三階）

〇会費 八千円

【オプション企画】

◇〇次会「オトナの文化祭」

・同日十一時～十三時

・母校内の金蘭会館二階 金蘭会ホール

・学年同窓生による出し物・展示等

★各界の第一人者と驚異の裏芸など

自薦他薦募集中！

◇二次会（歓談会）

・同日午後五時～七時、錦城閣和室にて

◇三次会（夜通し会）

・同日午後十時

・ホテルニュー松ヶ枝

（JR野田駅、地下鉄玉川駅からすぐ）

※詳細は同封のチラシをご参照ください。

文責 野口 幸

学年同窓会

（昭和五十八年卒）

去る五月五日（祝）、大阪城近くのホテルニューオータニ大阪にて、S58卒の卒業三十周年記念同窓会を開催いたしました。

当日は、小雨の降るあいにくの天気をものともせず、恩師、生徒を含め総勢一六八名が出席する賑やかな会となりました。

足元のお悪い中、ご臨席いただきました

縣先生（社会科）、今西先生（社会科）、

河瀬先生（国語科）、島先生（社会科）、

杉岡先生（数学科）、永井先生（英語科）、

山下先生（理科）（アイウエオ順）の七名の

先生方には心よりお礼申し上げます。

会は前半、始業のチャイムにより、まずは授業を模した先生方のスピーチに始まり、中間テストと称する生徒の皆さんへの簡単なアンケートを実施。後半は、buffet形式で食事しながら舞台の演目を楽しむ文化祭という流れで進みました。

前半の先生方のお話には三十余年前の高校生だった自分と今の自分を重ねつつ感動し、後半の文化祭では、縣先生のチエロ演奏や生徒代表の懐かしい歌に盛り上がり、あっという間に過ぎた三時間でした。

参加者の皆様方にとっては、至らぬ点多々あったかと思いますが、今回の同窓会を機に、各クラス会やクラブ会が少しでも盛んになることを、懐かしい再会が、新たな始まりとなりますことを、幹事一同願っております。

文責 中村（尾崎）昭子

卒業二十五周年 学年会報告

（平成元年卒）

平成二十六年二月四日十三時より、ホテルニューオータニ大阪二階、鳳凰Ⅲにて四半世紀の時を経て初の学年同窓会を開催いたしました。例年より長い年末年始休みということもあり、関東や九州といった国内遠方組に、海外からの一時帰省組も含めた二〇六名の同窓生に加えて、河瀬もも子先生、石川満先生、桜井洋先生、大鍛治和美先生、森下敏明先生、古久保（廣田）豊先生、三船（福島）直子先生の七名の先生方にもご参加頂きました。

当初どのような会になるのか不安もありましたが、いざ集まるとそんな心配もどこへやら、いつきに時計の針を二十五年戻された見かけはオッチャン・オバチャンの「高校生」が。また、終盤の先生方によるスピーチは、当時の授業風景を彷彿とさせる「話術」で、タイムスリップしたかのような懐かしい気持ちになりました。一時間の集いは本当にあつたという間で始どの参加者はホテル十八階、母校を遠望できるスカイラウンジでの二次会に参加。日が落ちるまで歓談が続きました。

今回の同窓会開催にあたり、金蘭会より案内状発送のため名簿提供を頂いたのです

が、この大手前だよりが届いていない「行方不明」となっている同級生が約半数と、四半世紀のの流れを改めて感じた二方

で、友人や部活仲間からの口コミやSNSを通じて連絡がつき、参加頂けた方も多くいらっしゃいました。情報拡散にご協力頂きました皆様改めて御礼申し上げます。

文責 石出 将也



支部この一年

京都支部

京都支部では総会・懇親会を年一回、春または秋の土・日曜に開催しています。昨年は十一月十日（日）に南禅寺臨の料亭「菊水」で五十八名の参加を得て開催しました。懇親会に先立って、小島一晃さん（S29卒）に「江戸から歩いて京に

上る―東海道十八泊（中山道二十六泊）のひとり旅」と題して講演をいただきました。

今年も秋の開催を予定していますが、日時、場所共に未定です。

当支部では年会費を頂いておりませんので、どなたでも参加して頂けます。案内状を必要とされる方は、遠慮なくお申し出下さい。

〒624-8362

八幡市男山美桜一―一六

TEL&FAX 075-981-1544

支部長 S28卒 藤原 啓助

近鉄支部

近鉄支部では総会、懇親会を年に一度秋に開催しております。

昨年は桂福丸さんによる落語をご披露しましたが、今年は横井章さん（S35卒）による講演を予定しております。

横井さんは金蘭会セミナーでお話いただいておりますが、高校時代はバスケット部で全国大会に出場され、早稲田大学からはラクビーに転向、トップブレイヤーになられ、三菱重工ではオールジャパンのキャプテンとして数々の国際試合で勇名をはせられました。ラクビーにちなんだ話などをしていただきます。

懇親会は十一月一日（土）場所は昨年と同じあやめ館を予定しております。紅葉には少し早いかと思いますが季節もいなので、会のおと奈良公園など散策いただくのもよいかと思えます。多数のご出席をお待ちしております。

今までご出席いただいている方には9月頃に案内状を送る予定ですが、初めての方は当支部あて連絡いただければ案内状を送らせていただきます。

〒631-0026

奈良市学園緑ヶ丘一丁目二番二十八号

TEL&FAX 0742-44-8089

支部長 S32卒 織田 正利

南海支部

①懇親会

本年度は、六月十五日(日)に、大阪難波にあるスイスホテル南海大阪の35階「シェルブルー」にて開催されました。眺望の素晴らしい会場でした。

南大阪の先進医療施設である「おかもと眼科クリニック」院長の岡本直之氏(S50卒)京都大学医学博士)に「かしこい遺伝子我々はどこから来てどこへ向うのか」と題して、講演していただきました。今注目されている話には、皆さん興味津々の面持ちで傾聴されていました。

その後は、スイスホテルならではのコース料理に舌鼓を打ちながら、和気あいあいの雰囲気の中で、面白クイズ(○×式)で皆さんの知識を総動員して、様々な賞品を獲得していかれました。

非日常の楽しい時間はあっという間に過ぎていきました。

②法廷傍聴会

毎年、西天満にある大阪地方裁判所において、法廷傍聴会が開催されています。皆さん裁判員になったつもりで、いつも真剣に刑事裁判を傍聴されています。

③南海支部ニュースの発行

今年度で南海支部ニュースが第15号になりました。さらに一層充実した内容にしたく、皆さまからの投稿もお待ちしています。

④入会受付

南海支部では、金蘭会員の方でしたら、ご住所がどこであっても、ご参加いただいております。少し試しに参加してみようかなと思われる方は、お気軽に声をかけただければ大歓迎です。

TEL 556-0011

大阪市浪速区難波中3丁目5番4号

難波末沢ビル3階

TEL 06-6630-3005

FAX 06-6630-3015

田中宏幸法律事務所内

支部長 S49卒 田中 宏幸

阪急支部

阪急支部は、毎年一回、秋に懇親会(総会)を開催しています。

今年の懇親会(総会)は平成二十五年九月十五日(日)千里阪急ホテルで開催し、森支部長の講演(模擬授業)を行ないました。

今年の懇親会(総会)は、平成二十六年十月十三日(月・祝)午前十一時半より

会場 大阪新阪急ホテル
卒業生であれば、阪急支部会員以外でも参加いただけます。学年会の延長で、お友達を誘いあわせて参加するというのも大歓迎です。

案内状を必要な方は、お申し出下されば、お送りします。
問い合わせ先

TEL 06-6863-5212

支部長 S30卒 森 延哉

TEL 072-734-6517

S37卒 奥本 登

阪神支部

阪神支部は毎年四月に総会・懇親会を開催しています。

今年四月十三日(日)宝塚ホテルに栗山校長先生はじめ、安橋会長、各支部の支部長にご出席頂いて開催致しました。毎回校長先生が母校の現状や発展ぶりを話して下さいるのをとても楽しみにしています。

今回の催しは、ジャズコンサート。佐々木欽子さん(S37卒)の息女ナターシャさんに九五〇年から六〇年代のジャズを歌って頂きま

した。題して「懐かしのジャズスタンダード」。「テネシーワルツ」に始まり「ルート66」など次々に懐かしい曲を聴き、楽しい時を過ごしました。歌手ナターシャさんは関学の軽音楽部で活躍後、アメリカやフランス、シンガポールに居住した経験があり、歌唱力や曲の説明にもそのキャリアを感じ取ることができました。ジャズボーカリストのみならず、シンガーソングライターとしても活躍中です。

こうして、先輩方と歓談しながらいただいた久々のフルコースは、おいく、又、雰囲気も楽しいものでした。

最後に足立勝先生(S29卒)の指導と指揮で校歌を熱唱しました。伴奏のCDは、当支部の為に足立先生が我々の音域に合わせて、息継ぎの間を考慮して特別に作って下さったものです。それぞれが女学生、高校生の頃を思い出して旧交を温め合った日となりました。

阪神支部は年会費なし、どなたでも参加して頂きます。総会及び運営に参加して頂ける方大歓迎です。今後ともよろしくお願ひ致します。

(阪神支部連絡先)

支部長 S27卒 升谷 博

TEL&FAX 078-413-6647

S32卒 真辺 和子

TEL&FAX 0798-511-0017

東京支部

東京支部の会員は二七〇名あまり、中部地方以東、北は北海道まで網羅しています。年に一度発行の東京支部会報には、昨年、北海道大学総長の山口佳三さん(S44卒)が寄稿されました。

総会は50歳を迎える学年が担当し、昭和57年卒が幹事の昨年は、七月二十日に早稲田のリーガロイヤルホテル東京で開催され、九六名の出席がありました。懇親会ではドイツで活躍中の茨田通章さん(S57卒)のピオラとソプラノサクスの迫力ある演奏に、

皆酔いしました。

総会では、二十二年もの間支部を支えて下さった小田切康幸支部長、奥村弘一郎支部長(ともにS30卒)が退任され、花東が贈られました。東京支部の顔であったお二方に、感謝の拍手が沸き起こりました。

新たに、阪本清副支部長(S42卒)が支部長となり、新役員を含む新執行部が誕生し承認されました。

今年九十回目となる支部総会で、七月六日「グランドアーク半蔵門」にて開催されました。

当番幹事は、毎年繰り返りがついでに伝統が引き継がれています。東京で集まることになった学年も、これを機会に集まり始めることが多くなっています。

高校卒業後五年以内の会員は、今年も総会費を無料にしていますので、是非ご出席ください。親元を離れた土地で、顔を見て話をするつながりを体験してもらいたいと思っています。

支部のホームページにアクセスすれば、支部の情報や会員登録方法などがわかります。

<http://kinran-tokyo.in.coocan.jp/>

副支部長 S48卒 竹村 泉



会員からのお便り

☆桐蹴会(サッカー部OB・OG会)

★創設十周年記念事業 成功裡に終わる!

平成二十五年十一月三日(日)、母校にて第十一回OB戦・総会を行いました。今回は桐蹴会創設十周年を記念して、元サッカー日本代表でセレッソ大阪アンバサダーの森島寛晃氏を招聘しましたが、森島氏は講演および現役生徒との対談後、OB戦にも参加してくださいました【写真】。親睦会は大阪キヤッスルホテルの錦城閣で開催し、庭野先生にもご参加いただき、総勢百二十五名のOB・OGが楽しいひと時を過ごしました。また、記念品として、サッカー部創設時(昭和二十七年)からの写真集とTシャツを作成し、会員の皆さんへ贈呈しました。

★東京でOB戦を開催!

平成二十六年五月十七日(土)、駒沢オリンピック公園のグラウンドでOB戦、渋谷で親睦会を開催しました。東京での開催は初めてでしたが、関東在住の会員約三十名に関東以外にも二十名余が加わり、大いに盛り上がりました。将来的には東京支部の創設に繋がってきたいと思っております。

★今年のOB戦は十一月三日(日)母校で開催!

今年も三連休の中日に開催しますので、是非、ご参加ください。詳細は九月頃、お知らせします。桐蹴会のブログ「蹴る蹴るボール」やフェイスブックにも掲載しますので一度アクセス



してみてください。

※ご自身ならびにご同輩などの情報提供、お問い合わせなどは左記までお願い致します。

〒五六五〇〇八七四

吹田市古江台五―三―三三―三〇八

TEL&FAX 06-6832-1987

メールアドレス

nogul31@3.nucom.ne.jp

野口 幸一 (S54卒)

☆美術部OB・OG(昭和のご卒業から平成26年卒業まで)のみなさまへ

今秋の母校文化祭と同日に、ミニOB・OG会を開催します。

昨年は少人数ながら、新しい出会いがあり、母校の現役の部員の方たちとも交流ができて、楽しいひとときを過ごすことができました。

今年は、更に人数が増えて、交流の輪が広がることを願っています。お忙しいこととは存じますが、短時間でも、ご参集いただけたら幸いです。

日時 平成二十六年九月七日(日)

(母校文化祭一般開放日)

十時三十分―十二時まで、出入り自由

場所 母校文化祭美術部出展ブース

☆事前予約不要、会費不要、日時については直近に母校HPで再確認して下さい。文化祭が中止になりました際は、本会も中止といたします。

なお、Facebookに「大阪府立大手前高等学校美術部OB会」というグループを作っています。Facebookでの交流を考えておりますので、ぜひ、登録・参加をお願いいたします。連絡先

TEL&FAX 0742-45-5260

森田 洋古 (S41卒)

メール rtsanagakutushita@gmail.com

宮本 和代 (S53卒)

☆桐柔会(柔道部OB・OG会)

★桐柔会総会開かれる!

去る平成二十六年三月二十二日(土)、淀屋橋のANAクラウンプラザホテル大阪において、

河橋幹事長(S61卒)をはじめとする幹事の方々の協力の下、桐柔会(大手前高校柔道部OB・OG会)の総会が開かれました。

総会は初の全世代対象の集まりで、創設者の丹羽權平氏(S28卒、前阪急支部長)、S28卒からH26卒の61年にわたる世代の方々、歴代の顧問の先生方、総勢64名にご参加いただき、非常に活気のある会となりました。総会では、S50年卒の江田会長をはじめ、世代を超えて話し合う方、当時のチームメイトと往時を懐かしむ方、皆それぞれ楽しんでおられました。

総会は毎年三月に実施する予定ですので、一人でも多くの方に参加していただければと思います。

文責 伊賀本 雅義(H24卒)
連絡先「幹事」京田 哲次(S63卒)
TEL 090-9697-6386

☆桐謡会に来て下さい

一寸でも謡をなさったことのある方、一度、どんなことしてるのん?と、のぞきに来ていただきたいのです。春秋二回、回を重ね、四十五年続いている伝統ある同好会です。ただ、会の雰囲気は気楽に謡って、楽しんでる和気藹々とした会です。男性の参加、歓迎です。先ずは、気楽に尋ねて下さい。

連絡先 0797-72-2269

御本 英子 (S20・4卒)

次回 第九十回 秋の会

九月二十六日(金)午前十時半より

大阪駅北側 弥生会館

大阪市北区芝田一―四―一五三

会費納入にご協力を！

～金蘭会の活動を支えるのは、
みなさまの年会費です～

年会費 2,000円 ※卒業後5年間は免除 (今年は平成22年から26年卒業の方)
賛助金 1口2,000円 (何口でも可)

同封の振込用紙をご利用ください。

郵便局のATMをご利用頂くと金蘭会の手数料負担が40円安くなりますので、ご協力をお願いします。

「大手前だより」の発行、母校の国際交流支援の拡充、金蘭会セミナー・パソコンスクール・各種同好会活動の推進、国際グリム賞の選考・贈呈、WEB金蘭会の充実、会館の運営促進など、金蘭会は各種の活発な活動を展開しています。皆さま方の積極的なご参加・ご利用をお願いいたしますとともに、同窓会として特色のあるこれらの活動を支えるために、会費の納入にぜひご協力賜りますようお願い申し上げます。

●大手前高校同窓会金蘭会ホームページ

「WEB金蘭会」 <http://kinran.jp/>

●大手前高校同窓会金蘭会事務局

〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-11
TEL: 06-6942-3947
FAX: 06-6942-4124
受付: 原則として火・木曜日、午後1時～4時

転居・改姓・物故の際は事務局へご連絡ください。
各種変更届、学年会・クラブOB会などの情報掲載希望、ご質問、ご相談、ご意見等、ホームページTOPページ左のメニューからも受け付けております。

学年同窓会開催サポートご案内

1. 対象学年の会員宛名シールの提供……………10円/名
2. 対象学年の名簿一覧表(A3判)の提供……………100円/枚
3. 金蘭会館(大手前高等学校内)2階ホールの提供……
原則として 火・木・土曜日
昼間(11時～16時)3000円/回
夜間(17時～20時)5000円/回

なお、大手前高等学校卒業後20年目の学年(今年は平成6年卒)については、開催をサポートする趣旨から、上記の料金を無料とします。大いにご活用ください。

学年代表評議員を通じて金蘭会事務局までお申し込みください。

06-6942-3947

編集後記

一般財団法人金蘭会が発足しました。
一・二面の記事を読んでいただくと、同窓会との関係がよくわかります。母校のためとの卒業生の思いが同窓会金蘭会に結集し、それがひいては母校の発展に寄与するのだと考えています。
昨年の本紙の改革で、連絡先がよくわかったとお声をいただいたりしております。どんどん同窓会に関わっていただけたらと思います。二年後には、母校創立一三〇周年、金蘭会一二五周年を迎えます。会員の力を結集しましょう。そのためにも会費納入に是非ご協力くださいますようお願いいたします。

(大鍛治 和美)

金蘭会オリジナルクリアファイル販売中

単価200円 但し10部単位で販売(送料無料)



お申し込みは事務局 06-6942-3947まで